



Amidia LRI ダイヤモンドナイフ

【禁忌・禁止】

- ・本製品を曲げ、切削、打刻(刻印)等の二次的加工(改造)をすることは、折損等の原因となるので絶対に行わないこと。
- ・超音波洗浄装置での洗浄は刃折れの原因になるので行わないこと。

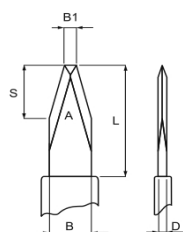
【形状、構造及び原理】

1. 外観図、構成

ダイヤモンド製の刃のナイフであり、伸縮式のシャフトによって刃はハンドル内に収納される。外装はチタン製。
LRI (Limbal relaxing incision-角膜輪部減張切開術) に特化した製品である。

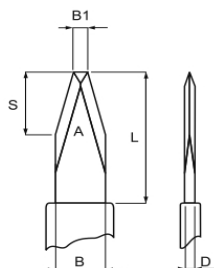
ハンドル部：チタン

刃 先：ダイヤモンド



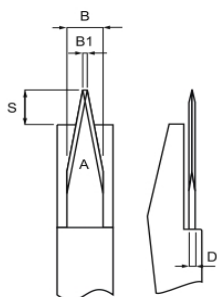
3ステップハンドル LRI ダイヤモンドナイフ 全長約 135mm

MODEL	B	B1	L	D	A
820-02	1.0	0.4	3.0	0.1	20°



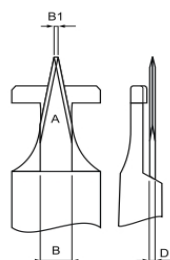
ステップハンドル LRI ダイヤモンドナイフ 全長約 135mm

MODEL	B	B1	L	D	A
820-02-01	1.0	0.4	3.0	0.1	20°
820-02-02	1.0	0.4	3.0	0.1	20°
820-02-03	1.0	0.4	3.0	0.1	20°



ドネンフェルド LRI ダイヤモンドナイフ 全長約 105mm

MODEL	B	B1	S	D	A
820-03	0.8	0.25	0.6	0.17	20°



ニカミン LRI ダイヤモンドナイフ 全長約 137mm

MODEL	B	B1	D	A
820-04	0.8	0.2	0.1	15°



2. 品目仕様等

顕微鏡で刃先の割れ、刃こぼれ等無いか確認する。

** 【使用目的又は効果】

眼科分野における施術に於いて、眼球及び周辺部の組織の切除、切開、及び剥離に用いる。

【使用方法等】

1. 使用前に洗浄し、滅菌すること。
2. 使用前に刃こぼれがないか確認すること。刃こぼれしている場合は使用を中止すること。
3. 手術時に執刀医に手渡す際は刃を収納してから行なうこと。執刀医が助手の方に返す際にも刃を収納してから行なうこと。また、刃が出ている状態でトレーに置かないこと。
4. 使用後は汚れあるいは粘弾性物質が刃に乾燥付着するのを防ぐため、直ちに蒸留水の入ったシャーレに刃先を収納した状態で漬けること。
刃についた水分を圧縮エアーなどで飛ばすこと。
この状態でまだ汚れが付着している場合は
 - 1) 刃先を収納した状態でシャーレに約 3% の過酸化水素を入れて 1 時間ほど浸す。
 - 2) 汚れが溶解したら蒸留水でよく濯ぎ、水分を圧縮エアーなどで飛ばす。
 - 3) 更に必要な場合は、アルコールをつけた柄付の MQA など
で刃を片面ずつ根元から刃先の方向に向かって拭く。
この時、刃先には力がかからないよう注意すること。
5. 滅菌について
 - 1) 毎使用前に滅菌すること。
オートクレーブ滅菌（134℃ 18 分間）
次の滅菌はしないこと。
乾熱滅菌、放射線滅菌、ホルマリン滅菌、EOG 滅菌
プラズマ滅菌
 - 2) 刃が収納された状態で滅菌すること。この時、収納ストッパーを取り付けること。

** 使用の際は次のことを注意すること。

1. 毎使用後に刃を確実にハンドルに収納すること。
2. 刃が破損するおそれがあるので、他の器具には接触させないこと。刃の材料であるダイヤモンドは非常に硬い素材であるがデリケートである。
3. 洗浄・滅菌した状態で保管する事を勧める。

** 【保管方法及び有効期間】

- * 1. 保管にあたっては、保管期間の長短に関わらず必ず乾燥すること。
- * 2. 滅菌済のものを保管するにあたっては、再汚染を防ぐため清潔な場所に保管するとともに、有効保管期間の管理をすること。

【取扱上の注意】

本製品は落下させたり、強い衝撃を与えると刃が破損する恐れがあり、取り扱いに充分注意を払うこと。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用後は出来るだけ早く付着している血液・体液・組織等の汚物を除去し、感染防止のために洗浄・滅菌・乾燥を実施すること。
2. 汚染除去にもちいる洗浄液は適したものを選択し、適正な濃度で使用するすること。
3. 洗浄液の残留がないように充分濯ぐこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1. 製造販売業者：
（株）キーラー・アンド・ワイナー
TEL: 03-3815-7787
2. 製造業者：
* Anton Meyer & Co., Ltd（アントンマイヤー社：スイス）